

エッシャーのもう一つの世界 ～アートとしての CAVE コンテンツ～

女子美術大学メディアアート学科

高橋小百合 椿谷綾子 三田遼子 矢野祐貴子 米本友里 中川しおじ 羽太謙一

エッシャーについて

マウリッツ・コルネリス・エッシャー Maurits Cornelis Escher (1898～1972)

奇妙な人面鳥や振じれた空間などをモチーフにした作品が有名な、オランダ屈指の版画家。

代表作「滝」「上昇と下降」など。今回モチーフにした「もう一つの世界」は1947年の作品。

「もう一つの世界」を CAVE コンテンツとして選んだ理由

エッシャーの描き出した世界は建築不可能な構造物や、平面を次々と変化するパターンで埋め尽くすといった非常に独創的なものであった。この「もう一つの世界」はあまり3D化されておらず、もしこの世界を3DCGで表現したらどんな世界が広がるのか、更にそれをCAVEで実寸大の自由自在に動き回れるコンテンツとして発展させる事が可能ではないかという考えに至り、「もう一つの世界」のCAVEコンテンツ化に取り組む事となった。

制作について

使用ツール：MAYA8.5、Photoshop CS2

原画をそのまま3Dに起こす事を基本にして制作した。立方体の部屋を中心とし、鳥や背景を配置、原画と同じ視点になる様にカメラを調節した。その後この世界を疑似体験できるように、制作したオブジェクトをCAVEに移植した。

今後について

今回我々の解釈したエッシャーの世界を、映像にして表現する予定である。

具体的には、エッシャーの世界のシンボルである人面鳥を扱う案が出ている。

